

表48 2016年末わが国の慢性透析療法の現況（所在県別）鹿児島県

透析施設の現況（施設調査票より）	
対象施設数	96
回収施設数	94
ベッドサイドコンソール台数	2,484
同時透析	2,461
最大収容	7,376

透析従事者数（施設調査票より）							
	医師	看護師	臨床工学士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	85	736	196	22	11	107	1,157
兼務	134	159	78	78	38	51	538
合計	219	895	274	100	49	158	1,695

透析患者数（施設調査票より）							
治療方法		通院		入院		合計	
治療 方法 単独	血液透析（HD）	3,734	(80.8)	594	(90.0)	4,328	(82.0)
	血液透析濾過（HDF）	733	(15.9)	35	(5.3)	768	(14.5)
	血液濾過（HF）	2	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.0)
	血液吸着透析	24	(0.5)	3	(0.5)	27	(0.5)
	在宅血液透析	1	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
	腹膜透析（PD）	96	(2.1)	28	(4.2)	124	(2.3)
HD(F), PDの 併用	週1回のHD(F)等との併用	25	(0.5)	0	(0.0)	25	(0.5)
	週2回のHD(F)等との併用	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	週3回のHD(F)等との併用	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	上記以外の併用	6	(0.1)	0	(0.0)	6	(0.1)
2016年末透析患者総数						5,281	(100.0)

かっこ内は列方向の合計に対する％です。

人口100万対比	3,226.0
----------	---------

2016年末透析患者のうち、夜間透析患者数	301
-----------------------	-----

2016年HD(F)等で新規に透析導入した患者数	522
2016年PDで新規に透析導入した患者数	52
2016年 新規導入患者総数	574

2016年 透析患者死亡数	589
---------------	-----

(C)Japanese Society Dialysis Therapy

2016年末調査

透析歴別患者数（患者調査票より）										
透析歴	男性		女性		合計		記載なし		総計	
2年未満	719	(23.3)	425	(22.0)	1,144	(22.8)			1,144	(22.8)
2年～	819	(26.6)	441	(22.8)	1,260	(25.1)			1,260	(25.1)
5年～	752	(24.4)	444	(23.0)	1,196	(23.9)			1,196	(23.9)
10年～	352	(11.4)	253	(13.1)	605	(12.1)			605	(12.1)
15年～	188	(6.1)	159	(8.2)	347	(6.9)			347	(6.9)
20年～	115	(3.7)	95	(4.9)	210	(4.2)			210	(4.2)
25年～	62	(2.0)	56	(2.9)	118	(2.4)			118	(2.4)
30年～	46	(1.5)	39	(2.0)	85	(1.7)			85	(1.7)
35年～	29	(0.9)	14	(0.7)	43	(0.9)			43	(0.9)
40年～	2	(0.1)	4	(0.2)	6	(0.1)			6	(0.1)
合計	3,084	(100.0)	1,930	(100.0)	5,014	(100.0)			5,014	(100.0)
不明										
記載なし										
総計	3,084		1,930		5,014				5,014	
平均	7.07		8.09		7.46				7.46	
標準偏差	7.60		8.18		7.84				7.84	

かっこ内は列方向の合計に対する％です。

最長透析歴（患者調査表より）	
最長透析歴	42年 3ヶ月